

2018年3月期 第3四半期決算補足資料

(2017年4月1日～2017年12月31日)

1. 2018.3期 第3四半期実績

(百万円)

	'18.3期3Q 実績	'17.3期3Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	23,401	22,128	+1,272	+5.8%
営業利益	3,131	881	+2,249	+255.1%
経常利益	5,889	2,016	+3,872	+192.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,350	1,481	+2,869	+193.7%
研究開発費	5,150	5,766	-616	-10.7%
研究開発費率	22.0%	26.1%	-4.1pt	-
営業利益率	13.4%	4.0%	+9.4pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	76.87	26.14	+50.73	-
期中平均レート(US\$/円)	111.71	106.68	+5.03	-

<実績と前年同期実績との増減要因>

売上高: 国内及び海外医薬品の出荷数量増や円安効果などにより増加。  
(+1,272) なお、売上高全体への円安効果は約+320百万円。

・国内アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移するなか、前年同期に新容器投入に伴う販売増があった反動を受け、医療機関納入本数は微減(前年同期比 市場-0.1%、アルツ医療機関納入本数-0.6%)。当社売上は出荷タイミング要因などにより増加。

・オベガン類は、シェルガンの積極的な販促活動により医療機関納入本数及び市場シェアが大幅に増加(前年同期比 市場+3.2%、オベガン類医療機関納入本数+23.6%)。当社売上も増加。

・米国ジェル・ワンは、現地販売数量が2割弱増加。当社売上は一部大口顧客への価格対応による現地販売価格低下の影響を受けたものの、出荷増や円安効果により増加。

・米国スパルツFXは、引き続き競合環境が厳しく、現地販売は微減。当社売上は販売提携先の現地在庫積み増しがあり増加。

営業利益: 増収に加え、アルツ新容器投入に伴う生産効率化等により原価率が低下。研究開発費の一部が第4四半期にずれ込んだことや、前年同期に米国における腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603のオープン試験費用が多かったことなど、販売費及び一般管理費の減少により大幅増益。  
(+2,249) なお、減価償却費は2,197百万円(前年同期比:+10百万円)。

四半期純利益: 受取ロイヤリティの大幅な増加などにより、増益。  
(+2,869)

2. 2018.3期 第3四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'18.3期3Q 実績	'17.3期3Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'18.3期予想	'17.3期実績
【医薬品事業】	19,158	18,020	+1,137	+6.3%	24,550	24,152
国内医薬品	12,881	12,305	+575	+4.7%	16,350	16,268
海外医薬品	5,584	4,928	+656	+13.3%	7,200	6,771
医薬品原体	692	786	-93	-12.0%	1,000	1,111
【LAL事業】	4,243	4,108	+134	+3.3%	5,750	5,437
合計	23,401	22,128	+1,272	+5.8%	30,300	29,589
(海外売上高)	9,078	8,118	+960	+11.8%	11,900	11,029

3. 通期業績予想と進捗率 (2017年5月12日に公表しました予想に変更ありません)

(百万円)

	'18.3期 予想	'17.3期 実績	前期比		'18.3期3Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	30,300	29,589	+710	+2.4%	23,401	77.2%
営業利益	1,500	1,282	+217	+17.0%	3,131	208.7%
経常利益	3,750	2,477	+1,272	+51.4%	5,889	157.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,700	1,787	+912	+51.0%	4,350	161.1%
研究開発費	8,350	7,834	+515	+6.6%	5,150	61.7%
研究開発費率	27.6%	26.5%	+1.1pt	-	22.0%	-
営業利益率	5.0%	4.3%	+0.7pt	-	13.4%	-
1株当たり当期純利益(円)	47.65	31.55	+16.10	-	76.87	-
期中平均レート(US\$/円)	108.00	108.42	-0.42	-	111.71	-

以上